

ACTA

アクタNo.61



発行日：2017年8月20日

ACTA（アクタ）は芥（あくた＝ちり、ごみのこと）、そして英語のACT（アクト＝行動する）という意味を含んでいます。さあ、あなたもごみの減量に向けて行動を始めましょう！

発行：多摩市環境部
ごみ対策課
☎ (338) 6836



「食品ロス」の削減にむけて

～合い言葉は“もったいない”～

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約632万トンにも上ります。これを日本人1人当たりで換算すると、毎日お茶碗約1杯分（約136g）のご飯の量を捨てていることになります。私たちは多くの食べ物を輸入しながら、大量に捨てているのです。「もったいない」の意識を持って、食べ物を無駄なく大切に、食品ロス削減の取り組みが必要です。



家庭での食品ロスを減らしていきましょう

B・C面

もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう
ダンボールコンポスト始めてみませんか？
ペットボトルの出し方

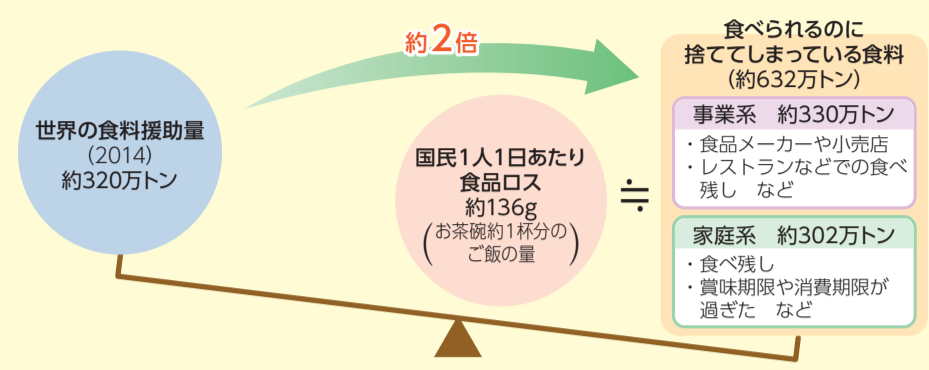
D面

平成29年度第1回「土壌改良材」市民配布のお知らせ
剪定した枝はエコプラザ多摩へ！！
粗大ごみの申し込み
都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
多摩市のごみ量は？

もったいない! 食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう

食べ物を無駄にしないために、毎日の暮らしの中からできることを実践してみましょう。
(出典記事：政府広報オンライン)

日本国内における年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トン。このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。これは、飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量を大きく上回る量です。日本人1人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。日本の食料自給率は現在39%で、大半を輸入に頼っていますが、その一方で、食べられる食料を大量に捨てているという現実があるのです。食品ロスを減らすために、食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していくことが必要です。



「食品ロス」の約半数は家庭から

食品ロスは、食品メーカーや卸、小売店、飲食店、家庭など、「食べる」ことに関係する様々な場所で発生しています。家庭においても食品ロス全体の約半数にあたる年間約302万トンが発生しています。家庭から出される生ごみの中には、**手つかずの食品が2割もあり**、さらにそのうちの4分の1は賞味期限前にもかかわらず捨てられているものです。そのほか、調理の際、食べられる部分を過剰に捨てていることも食品ロスの原因になっています。家庭での食品ロスを削減できれば、食べ物の廃棄量を減らすという環境面だけでなく、**家計面にとってもメリット**があります。

「食品ロス」を減らすには…

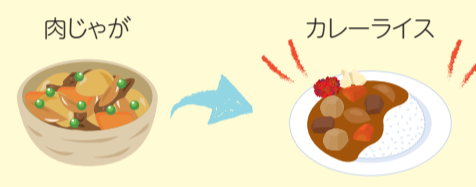
1 食材を「買い過ぎず」「使い切る」「食べ切る」

値段が安いからといって食材を買い過ぎたり、在庫があるのを忘れて同じ食材を買ってしまったりは、結局使い切れずに食材を腐らせてしまう原因にもなります。買い物の前には食品の在庫を確認し、**必要なものだけ**を買うようにしましょう。また、買ったものは**使い切る・食べ切る**ようにしましょう。



2 残った食材は別の料理に活用

食べ残しなどを減らすために、料理は**食べられる量だけ**つくるようにしましょう。食べ切れずに残ってしまった場合は冷蔵庫に保存し、早めに食べましょう。また、中途半端に残ったら**別の料理**に活用するなど、**食べ切る工夫**をしてみましょう。



まず「水切り」
 生ごみの約8割は水分です。捨てる前にギューッとひとしぼり

それでも出てしまう生ごみは、**生ごみ堆肥にリサイクル!**

ダンボールコンポスト始めてみませんか?

「ダンボールコンポスト」など、ご家庭で手軽にできる生ごみ処理機器を使って生ごみを捨てずに「堆肥」にリサイクルしませんか? プランターや花壇でお花や野菜の栽培に活用できます。

生ごみ処理機器等購入費の補助制度もあります!!

消耗品 (発酵促進剤・基材など)	非電動生ごみ処理機器 (ダンボールコンポストを除く)	ダンボールコンポスト
●年度ごとに1世帯 2,000円まで <補助金額> 購入金額の2分の1	●原則として1世帯に1基 <補助金額> 購入金額の2分の1 又は5,000円の いずれか低い方の金額	●年度ごとに1世帯2基まで <補助金額> 購入金額の2分の1 又は5,000円の いずれか低い方の金額

申請方法等詳細は、多摩市公式ホームページをご確認いただくか、ごみ対策課 ☎(338) 6836へお問合せください

「ダンボールコンポスト! 使い方講習会」を開催します

初めてダンボールコンポストを始める方向けに入門編。既に取り組んでいる方向けにフォロー編の講習会です。ダンボールコンポストでできる生ごみ堆肥の使い方の講習も行います。「ダンボくらぶ」のメンバーが、質問や相談にお答えします。お気軽にご参加ください。

	日程	時間	場所
入門編	9月9日(土)	14:00~15:30	消費生活センター
	10月15日(日)	10:00~11:30	講座室(ベルブ永山)
フォロー編	11月26日(日)	10:00~11:30	

●申込み 8月22日(火)から
 ごみ対策課 ☎338-6836へ
 ●各回20名程度申込み先着順
 ※入門編の内容は同じです

☎相談・問合せ ごみ対策課 ☎(338) 6836

多摩市オリジナル
ダンボールコンポスト「ダンボちゃん」

「ダンボールコンポスト」とは…
 生ごみは、土に入ると微生物の力で分解し消滅していきます。これをダンボールの中で再現するのがダンボールコンポストです

「ダンボくらぶ」

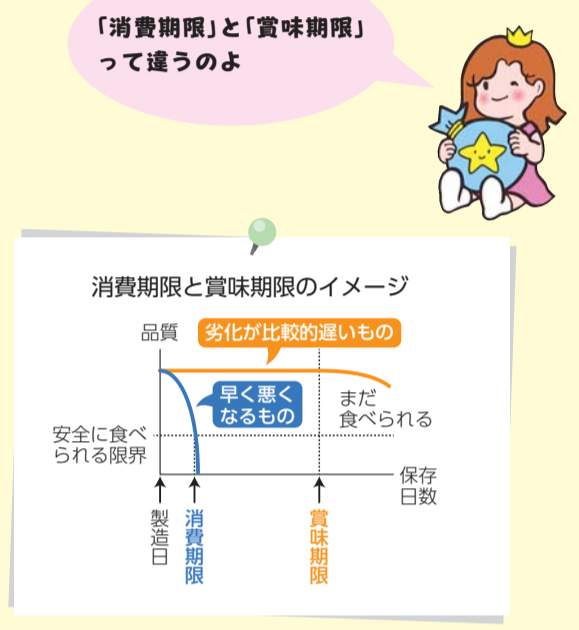
「ダンボちゃん」で、楽しみながら循環型の暮らしを楽しむ市民グループです。生ごみの減量を目指して市と協働で生ごみリサイクルの普及に取り組んでいます。自治会・管理組合・グループなどに出席講習会も実施できます。☆「ダンボちゃん」からできた生ごみ堆肥を使って、市役所玄関前プランター・第二庁舎前花壇で、お花を育てています。☆ダンボくらぶの活動にご関心のある方は連絡ください。✉danboclub@gmail.com

3 「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解

加工食品には、「消費期限」か「賞味期限」が表示されていますが、その違いをご存じですか。

消費期限	賞味期限
品質の劣化が早い食品に表示されている「 食べても安全な期限 」のため、それを越えたものは食べないほうが安全です。	品質の劣化が比較的遅い食品に表示されている「 おいしく食べられる期限 」であり、それを越えてもすぐに食べられなくなるわけではありません。賞味期限を超えた食品については、見た目や臭いなどで個別に判断しましょう。
食品の例 弁当、サンドイッチ、生めん、総菜、ケーキなど	食品の例 スナック菓子、カップめん、缶詰、レトルト食品、ハム・ソーセージ、卵、など

※消費期限や賞味期限は、表示されている保存の方法で保存した場合の、開封前の期限です。一度開封したら、期限にかかわらず早めに食べましょう



4 外出時での食べ残しを防ぐために

ボリュームが予想外に多い、注文時には知らずに嫌いな食べ物が含まれていた、などの理由で食べ切れない場合があります。飲食店では、こうした食べ残しが食品ロスの主な原因になっており、それを減らすために、次のような工夫をしてみましょう。

- ⓐ 小盛メニューがあれば利用する。
- ⓑ 料理を注文する際にボリュームを確認し、「食べ切れないかも」と思ったら「少なめにできますか?」とお願いする。
- ⓒ メニューの中に食べられない物があれば、注文の際に、あらかじめそれを抜いてもらう。もし、残ってしまった場合は、持ち帰りができるかお店に確認してみましょう(ただし、持ち帰ったら自己責任となりますのでご注意ください)。



フードバンク活動

期限が間近の食品や、印刷ミスや包装破損といった品質には問題ないが通常の販売が困難な食品・食材をNPO等が企業から寄付してもらい、福祉施設などへ無償提供する「フードバンク活動」という取り組みも始まっています。

寄付者 企業・メーカー → フードバンク → 受贈者 福祉施設等

ペットボトルの出し方

ペットボトルの受け入れ先である容器包装リサイクル協会の受け入れ基準が変更になりました。多摩市では、以前からペットボトルのキャップとラベルをはずして出してくださいとお願いしておりますが、キャップやラベルがついたまま収集されるものがあります。出す前に、再度ご確認をお願いします。

- ◆必ずキャップとラベルをはずす
- ◆中を軽くすすぐ
- ◆軽くつぶす

ついたままのキャップは、ひとつひとつの手で取るんだよ!

えーっ!!じゃあ、キャップもラベルもちゃんとはずさなきゃね。

キャップ

ラベル

PET

本体 ペットボトルへ

平成29年度第1回「土壌改良材」 市民配布のお知らせ

- 日時** 9月30日(土)・10月1日(日)
午前9時～正午
- 対象** 市内在住者
※配布当日、申込者本人が土壌改良材配布引換券(返信はがき)を持参
インターネット手続きの場合は申請完了時にお知らせする到達番号を受け付けで提示
※申し込みは1世帯で1通。応募者多数の場合は抽選
※代理受領はできません
- 申込方法**
①インターネットで…8月21日(月)午前9時から9月11日(月)までに公式ホームページから電子申請。
②往復はがきで…9月11日(月)消印有効の往復はがき往信欄裏面に、住所・氏名・電話番号を記入し、〒206-0024多摩市諏訪6-3-2エコプラザ多摩内ごみ対策課へ。(こちらから連絡をさせ

ていただく場合がありますので、電話番号は必ず記入してください)
※配布する際に使用する土のう袋は再利用できないため、返却不要です
※インターネット手続きの場合、応募後4日以内に受領メールがないときはごみ対策課までお電話ください
※平成29年6月1日から郵便料金が増額となっています。料金不足の場合、はがきが届かないことも考えられますので、往復はがきで申込みをする方はご注意ください
問合せ ☎(338) 6836

[配布する土壌改良材は、農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課長、平成23年11月1日付23消安第3838号に基づく、検体採取・測定・検査方法により検査機関で検査しています。(肥料の放射性セシウム許容値は、400Bq/kgです)]
◎測定結果：放射性セシウム134、137の測定結果7Bq/kg・放射性ヨウ素131は不検出。

剪定した枝は エコプラザ多摩へ!!



公共施設の剪定枝や、市民の方が剪定した枝はエコプラザ多摩で土壌改良材に生まれかわります。捨ててしまえば「ごみ」として焼却処分されてしまう剪定枝。積極的にエコプラザ多摩に持って来ていただき、資源化にご協力ください!!

<枝の搬入について>

- 対象** 公共施設の剪定枝。市民(自治会・管理組合含む)の方が自ら剪定した枝
- 申込み** 原則、前日までの電話受付 ☎(373) 5013
- 搬入できない剪定枝**
* 枝の長さが1m以上
* 処理困難な樹木等(イチヨウ・アオギリ・シュロ・つる性のもの全般・草・落葉・樹木の根・笹・竹)
* 毒性のある樹木(キョウチクトウ・アセビ・ウルシなど)



粗大ごみの申し込み

- 〈申し込み方法は2つ〉
- ① 電話で…粗大ごみ専用ダイヤル ☎(375) 9713へ**
👍 **申込みをする前に…**
粗大ごみの処理料金は、品目で決まるものと大きさで決まるものがあります。三辺(高さ・横幅・奥行き)の長さで重さを決めてお申し込みください。
- 📏ポイントアドバイス 重さの量り方** 体重計に乗らない粗大ごみは、以下のように量ることができます。
- ① 粗大ごみを持って体重計に乗る (70kg) - ② 荷物を置いて体重計に乗る (60kg) = ③ ①-②=粗大ごみの重さ (10kg)
- ② インターネットで…電子申請から**
多摩市 粗大ごみ 電子申請 **検索**
👍 **電子申請で申し込みできる粗大ごみの品目は限られています**
多摩市公式ホームページでご確認ください。
※電子申請から申し込みできない品目の場合は、電話でお申し込みください
🚫 **メールでの申し込みはできません**
- 直接持ち込みもできます**
多摩清掃工場への持ち込みもできます。申し込みが必要ですので、粗大ごみ専用ダイヤル ☎(375) 9713に必ずお電話ください。10kgにつき250円です。
※詳細は、「ごみ・資源の分別ガイド」・「ごみ収集カレンダー」または、多摩市公式ホームページをご覧ください

「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」

～多摩市も賛同しています～

日本全国の国民が参加して回収した小型家電のリサイクル金属で、東京オリンピック・パラリンピック入賞者が手にする約5,000個のメダルを製作する国民参画型プロジェクトです。
▷主催 東京2020組織委員会・環境省・日本環境衛生センター・NTTドコモ・東京都

回収品目 携帯電話のみ(スマートフォンを含む)
🚫 **注** 個人情報情報は必ず消去してください

回収期間 平成29年7月5日～平成31年3月31日(予定)

回収ボックス設置場所：多摩市役所本庁舎1階 案内横

問合せ オリンピック・パラリンピック準備室 ☎(338) 6947

多摩市の ごみ量は? ごみ減量目標達成を目指して

多摩市のごみ減量目標のひとつに、平成23年度と比較して、平成25年度から34年度までに家庭系・事業系とも毎年1%ずつのごみ減量(10年間で10%)を掲げています。4年目にあたる28年度の目標は4%の削減です。

家庭系ごみ 5.7%の削減で目標達成です。
着実にごみ減量が進展しています。さらに適正な分別と資源化の啓発を進めてまいります。

事業系ごみ 15.9%の削減で目標達成です。
処理手数料の改定、清掃工場での搬入物検査、排出事業所への訪問指導などの取り組みにより目標を大きく上回る結果が出ています。

日頃の市民の皆さんのご協力に感謝するとともに引き続きご協力をお願いいたします。

皆さんは、リサイクルできる資源を「燃やせるごみ」にしていますか? 「燃やせるごみ」の中には、資源となるものが多く混入しています。再利用できる資源は「ごみ」とせず、リサイクルしましょう。

	平成23年度基準値		平成28年度実績値			平成34年度目標値			
	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	減量率	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	減量率	
家庭系ごみ	24,792	462.0	23,584	435.6	-5.7%	22,293	415.7	-10.0%	
事業系ごみ	10,311	192.1	8,744	161.5	-15.9%	9,271	172.9	-10.0%	
合計	35,103	654.1	32,328	597.2	-8.7%	31,564	588.6	-10.0%	
人口(人)	146,637		人口(人)		148,317		人口推計(人)		146,906